

2024 年 6 月
No. 468 号

モーリンググループ新入社員のご紹介！



Onizuka minato
鬼塚 湊

趣味 読書・ゲーム

初めまして！鬼塚 湊（おにつか みなと）と申します。

3 月まで学生をしていました。

現在は、要工場 NC で仕事をさせていただいています。

社会人経験は無く、分からない事ばかりですが、頑張って仕事を覚えていきます。よろしくお願いいたします！

社長よりメッセージ

鬼塚さんは社会人一年目の割には落ち着いて見える反面、会話してみればやはりまだまだ 10 代の若さに溢れています。現場では覚えることがたくさんあるかと思いますが、製造業務を通じて何でも吸収してもらいたいと思っています。これからの成長に期待しています！

感覚の違いから伝わるもの

森 直樹（代表取締役社長）



紙の本を久し振りに読みました。GW 中に家族で台湾旅行に行き、移動中の時間で読みましたが、紙の本とタブレットで読むデジタルの本を比較すると入ってくる情報は同じのはず、ですが紙に触れ、ページをめくりつつ読むのと画面をタップしてページを送っていくのとではその動きが異なることで頭への入り方も変わっていくように感じます。ここ数年使用しているタブレットへ手書きのメモを取るのと、紙のノートへ手書きするのともまた似たような差があると感じました。このデジタルとアナログの違いは、いずれも紙を介することで手に伝わる感触が多彩です。タブレットへタッチペンで書くことは、紙へ書くことと手の動きは同じですが、画面から伝わる画一的な感触と、紙に書く際のペンが滑る感触では手に伝わる感覚が使うペンによっても異なり、これもまた似て非なるものではないでしょうか。商談でもノート PC、タブレット、紙のノートと様々なツールが利用されているのが普通になりましたが、どの方法が優れている、というものでもなくそれぞれの利点欠点を考えて選択できるような時代になったと感じます。またコロナ禍前に訪問して以来の台湾（台北）は、為替の影響で大幅に変わってしまった台湾ドルレート以外は、以前と同様にどこか日本に近いような雰囲気があり、非常にリラックスして過ごすことが出来ました。当時お世話になった方や新たに紹介頂いた現地の方とも交流でき、充実した休暇となりました。



初めての歌舞伎

村田 恒夫（総務・経理）



妻と一緒に歌舞伎を観てきました。今は亡き、中村勘三郎が長年抱いていた思いを実現した「平成中村座」。中村勘三郎の十三回忌追善公演として、中村姓発祥の地、名古屋市中村区にある同朋高校体育館を会場に上演。会場へ行く前に天気も良かったので中村公園に寄って中村勘三郎銅像（初代中村勘三郎とは江戸時代初期の歌舞伎役者で、生誕地は現在の名古屋市中村区辺り）を見てから会場の同朋高校体育館へ徒歩で向かいました。少し疲れ気味で会場へ到着。会場に到着してからは、ボランティアの同朋高校の生徒さん、先生方が会場の細かな案内をしてくれました。会場の体育館ではビニール袋を渡されて、靴入れにして入っていきます。入口には勘三郎さんの写真やメッセージボードなど飾られています。体育館の2階が会場ですが、自分の席を確認してショック!! 1等席 14,500円（座布団席）なのに、座布団も小さく、自分のスペースがかなり狭いのに驚きました。周りを見渡すと、2等席（後方）は



座布団ではなくパイプ椅子でした（個人的にはパイプ椅子のほうが絶対にいいけどな!! と思いました）。今回の演目は、一、義経千本桜（70分）二、二人藤娘（23分）でした。見どころは派手な奇抜さを狙った演出の連続。義経千本桜では、藤色の裾をばかした長袴姿の狐忠信が床下に消えると、一瞬で真っ白な毛縫いの白狐の衣装に早変わりした源九郎狐として縁の下から登場。また、源九郎狐が姿を消した後、本物の忠信に替わって窓から顔を出す（早替り）。狐の姿で細い欄干（てすり）の上に乗し、ちょこちょこ跳ねるように渡っていく（欄干渡り）。初めての歌舞伎でしたが、勘九郎の軽やかな身のこなしは凄いと思いました。又、イヤホンガイドでの解説がわかりやすかったのが楽しむことができましたが、小さな座布団で長時間座るのは本当にきつかった（残念!!）。中村七之助ファンの妻は、艶やかな二人藤娘を見ることができてお土産も買い大満足の様子でした。

久しぶりの中国出張

伊東 義弥（特販部）



4月末に約6年ぶりに中国出張へ行かせていただきました。上海と深圳に行くことになり、準備をしていたのですが、前回最後に行ったときと一番大きく異なる点がビザでした。最後に行ったときはまだビザなしで入ることができましたが、現在はビザがないと入国できないためビザの取得をしなければなりません。初めてのビザ取得のため、お客さんなどに流れなど確認をしましたが皆さん苦労されているとのこと。特に顔写真は気を付けた方が良く…。あるお客さんは4回取り直し、最後はスタジオ撮影をしたとのことでした。最初は証明写真の機械で撮ろうと思っていたのですが、この情報のおかげで最初から「カメラのキタムラ」さんで写真を撮ったので一発クリアでした。その他の資料関係も一苦労でしたが、何とか無事取得し出張に行くことができました。6年ぶりの中国。まず驚いたのが空港のトイレのきれいになっていたことです。新しいこともあってかとても清潔感を感じました。また移動も楽になっており、DiDiというタクシー配車アプリもできたので中国語が話せなくても目的地まですぐに行けますし支払いも乗る前に決済されますので安心です。前情報として街中でスマホを使って撮影などしているとスパイ容疑で捕まるなども聞いていたため、警戒はしていたものの、そういった事件に巻き込まれることはなかったです。街中に設置された防犯カメラのおかげでひったくりなどの事件もすごく少なくなったと聞きました。途中上海から乗るはずだった国内便が欠航になってしまい振替便も間に合わないというプチ事件は発生したものの、6年ぶりの中国出張は無事終了し帰国できました。日本にいてニュースなどで見聞きする情報ではわからない変化などを感じることができ、大変有意義な出張でした。これからも海外との輸出入に力を入れていこうと思っています。少しでも興味があればお声がけいただければ幸いです。

双子の兄弟

橋野 徳明（製造部）



2年前、うちのチームに3年生の双子の兄弟が入部してきました。兄は右投げ左打ち、弟は左投げ左打ち。僕はアニメのようにバッテリーを組ませようと考え、続けてきました。なかなか思い通りには行きませんでした。4年生の秋口には形になり5年生になった時には行けると思って楽しみにしていました。その兄弟のお父さんは仕事でバンコクへ10年も単身赴任。兄弟はお父さんの居ない生活で長期連休の時に帰って来て、たまに家に来るおじさんと思っているみたいです。帰って来た時はチームにも顔を出してくれました。そして今年はお父さんが帰って来る予定と聞いていたのでお父さんに子供が成長した姿がみせられるのも楽しみでした。ところが今年の二月に帰って来られないことを聞き残念に思っていました。今年の5年生が一学年10人になり安心していると兄弟が3月の終業式でチームを辞めバンコクへ転校すると聞き心が折れました。スタッフとも話し合い現状は4年生から二人を上げてやることに決めました。兄弟にバンコクへ行っても野球を続けてくれるか確認すると続けると言ってくれたので安心しました。転校後、兄弟のお母さんからラインが届き、新学期が始まった報告とタイの野球チームに40℃を超える暑さの中、体験に行ったという連絡がありました。タイではサッカー、バドミントンなどがテレビでも人気で野球はなかなかのマイナースポーツで国内では2チームしかないそうです。新品の道具は国内では一切手に入らないそうで、投手が使うロージンもないためベビーパウダーを代わりに、トスバッティング用のネットもサッカーのミニゴールネットを代用し、工夫しながら練習をしているそうです。そんな環境の中でも野球を続けてくれていることに感謝です。お母さんもチームのインスタを見て気にかけてくれることにも感謝します。



体験に行ったと言う連絡がありました。タイではサッカー、バドミントンなどがテレビでも人気で野球はなかなかのマイナースポーツで国内では2チームしかないそうです。新品の道具は国内では一切手に入らないそうで、投手が使うロージンもないためベビーパウダーを代わりに、トスバッティング用のネットもサッカーのミニゴールネットを代用し、工夫しながら練習をしているそうです。そんな環境の中でも野球を続けてくれていることに感謝です。お母さんもチームのインスタを見て気にかけてくれることにも感謝します。

北海道旅行フェリー旅

吉田 翔（森松産業）



北海道に3泊4日で一人旅に行ってきました。1日目は飛行機で新千歳空港に向かいました。北海道では札幌やノーザンホースパークなどを訪れ、苫小牧で一泊しました。苫小牧では、地元の味であるホッキごはんやハスカップを楽しみ、北海道ならではのセイコーマートで限定の飲み物を手に入れました。お土産は苫小牧フェリー乗り場と苫小牧観光案内所で購入しました。2日目の昼過ぎから苫小牧港で太平洋フェリーの「いしかり」に乗船しました。特等船室の二人部屋を一人で予約し、苫小牧港から仙台港、そして名古屋港へと向かう船旅を楽しみました。船内にはレストランやカフェ、売店、そして大浴場があり、時間限定で利用できました。レストランでは朝食、昼食、夕食がバイキング形式で提供され、特に“牛タンカレー”が美味しかったです。売店ではフェリーや各地の土産物が販売され、船室はビジネスホテルのような雰囲気でしたが、窓がなくインターネットやテレビが利用できないのが少し寂しかったです。甲板に出ると真っ暗で、夜は特に怖かったです。日の出や夕焼けを見ることができ、自然の美しさに触れることができました。3日目の仙台港では10時くらいに上陸し、3時間ほど仙台を散策しました。仙台港の近くにはイオンや三井アウトレットパークがあり、“牛タン弁当”や“ずんだ餅”など地元の味を楽しみ、お土産を購入しました。4日目の朝に名古屋港フェリーターミナルに到着。インターネットやテレビはなかったものの、ゆっくり本を読んだり景色を楽しんだりして、心地よい時間を過ごすことができました。





意外と知らない!? 梅雨にまつわる豆知識!



6月に入ると梅雨のシーズンになります。雨の日が増えるので、憂鬱に感じる方も多いのではないのでしょうか。

梅雨といえば、多くの方が「雨がたくさん降る時期を指す」と認識されているかもしれませんが、なぜ「梅」の「雨」なのか、ご存知の方は少ないことでしょう。普段、何気なく使っている「梅雨」ですが、梅雨に関する雑学を知ることによって新しい発見があり、梅雨の時期も少し楽しく過ごせるかもしれません。

・なぜ「梅」という漢字を使うの?

一説によると、梅の実が熟す5~6月頃に降る雨であることから「梅」と「雨」で「梅雨(ばいう)」と呼ばれるようになったそうです。また、5~6月は気温が上がり雨が降って湿度が高くなることから、カビが生えやすい時期のため「黴(かび)」と「雨」で「黴雨(ばいう)」と呼ばれていました。

カビと聞くと聞こえが悪いので、同じ読みの「梅」を使い「梅雨」と読むようになったという説もあります。

・北海道に梅雨はない

毎年、気象庁が発表している梅雨入り、梅雨明けの知らせに北海道は対象外となっていますが、もともとは北海道でも梅雨はあるものとされていました。しかし、北海道の梅雨は本州の梅雨のように長続きすることが少ないため、梅雨の時期がはっきりせず正式には定めないことになりました。このような経緯から北海道には梅雨がないといわれています。

・アジサイの色は土壌で決まる

アジサイの大きな特徴といえば、育った土壌の性質によってアジサイの色が変化することです。色が変化するという特徴から、別名「七変化」と呼ばれることもあります。アジサイには「アントシアニン」という色素が含まれており、アントシアニンに土壌から吸い上げたアルミニウムが加わると、アジサイの色が青くなります。アルミニウムは酸性の土壌に溶けやすく、アルカリ性の土壌では溶けないので、酸性の土壌なら青色、中性~アルカリ性の土壌だと薄紅色やピンク色のアジサイが育ちます。アジサイの品種によっては時間が経つにつれて、くすんだ赤色や緑色に変化するものもあるそうです。

小学生も「〇〇」に夢中

大脇 勝治 (製造部)



最近の話ですが、スマホでYouTubeを開いた時に、1本の動画が目につきました。【小学生も「麻雀」に夢中 “頭脳スポーツ”としてブーム再来】 気になったので動画を再生すると “運”・“戦略”とテロップが出てくる中、お兄さん達が麻雀をしている風景が。中国発祥の麻雀は昭和時代にブームが到来し『テンパる』や『連チャン』など、麻雀由来の言葉も生み出したそうです。その一方、お金を賭ける・徹夜で楽しむなどのネガティブな印象もあり競技人口は2010年以降、大幅に減少。しかし、近年プロの雀士(麻雀プレイヤー)がチームを組み競い合う「Mリーグ」や、アニメや漫画・スマホゲームなどの影響でイメージアップされ若い層を取り込み、将棋や囲碁のような頭脳スポーツとしてブレイク中!だそうです。名古屋市内のショッピングセンターの中にある麻雀スクールが月に一度小中高生を対象に「子どもマージャン教室」を開いているそうで、教室を始めて半年程たったが予想を上回る反響に担当者も驚きを隠せないとか。この時点で麻雀熱が沸々としてきました。動画を進めて行くと脳神経外科のお医者さんが登場。先生の調査によると教室に通った子供にはIQが上昇する傾向見られたそうです。【目と指の連動性がよくなった】・【視覚性の短期記憶が上昇】・【集中力がアップ】などの結果もあり、今後集中力が欠如した子供たちの治療に応用できないかと考えているそうです。さらに、6歳から麻雀を始めたプロ雀士は、『幼い頃麻雀で培った計算力が算数や数学を嫌いにならずにしてくれたのかもしれない』『身に付いたのは論理的思考力だけではなく、論理的思考を尽くして頑張ったとしても報われない時もある。『人生そういう事もあるよな』と早めに学べたような気もする』と話していた。うちの家族も興味をもってくれたらいいなと思い、お家に麻雀セットを用意。あの手この手で引き込み、現在自宅にて「大脇子供マージャン教室」開催中です。みんなで一緒に趣味として楽しく打てる日を楽しみにしております。